



## 特別展「たのしむ・語らう・大阪の書画」開催

会期：3月14日（土）～5月17日（日）

市立歴史民俗資料館は、特別展「たのしむ・語らう・大阪の書画」を開催します。この展示では同館所蔵品を中心に大阪の書画を展示します。

大阪では、江戸時代以降、町人を主な支持層とする、絵師や知識人のネットワークが形成されました。そこでは官画的な規範にしばられない気風が醸成されており、余技として詩書画をたしなむ商人たちも含めて、文人たちが流派にとらわれず交友を温めていました。こうした気風は近代以降も続き、公募展に出品せず、財界人の後援を受けた画家たちが活躍しました。江戸時代から続く、大阪の書画の系譜を紹介し、大阪の風土が築いた文化を見つめ直します。

### 特別展「たのしむ・語らう・大阪の書画」

会期：3月14日（土）～5月17日（日）

会場：歴史民俗資料館（五月丘1-10-12）

休館日：月・火曜日（5月4日・5日を除く）、5月7日（木）

開館時間：午前9時～午後5時

観覧料：無料

ホームページ：<https://www.city.ikeda.osaka.jp/soshiki/kyoikuiinkai/rekishi/index.html>

### 関連イベント

○特別展記念講演会「大阪画壇を読み解く～文人画を中心に～」

講師：明尾圭造（大阪商業大学教授、商業史博物館主席学芸員）

日時：3月22日（日）午後2時～3時30分

会場：同館大展示室

定員：40人（先着順）

申込：電話、窓口、ウェブフォームで



○ワークショップ「たのしむ・語らう・煎茶会」

講師：佃梓央（一茶庵宗家嫡承）

日時：4月12日（日）午後2時～3時30分

会場：中央公民館（和・茶室）

定員：15人（先着順）

申込：電話、窓口、ウェブフォームで



3月14日（土）午前10時から受け付け

○ミュージアムトーク

日時：4月19日（日）午後2時～3時

会場：歴史民俗資料館大展示室・小展示室

※申込不要。





### ○ワークショップ「おうちで掛軸」

展示作品の複製を用いて自分だけのミニ掛け軸を作ります。

日時：5月9日（土）午前10時～正午、午後2時～4時

5月10日（日）午前10時～正午、午後2時～4時

会場：同館大展示室

※申込不要。

### ○大阪の書画、語らう

作品に登場する人物や動物は絵の中で何を話しているのでしょうか。考えて吹き出しに書いて共有する企画です。

日時：会期中随時

会場：同館大展示室

※申込不要。

### ○逸翁美術館連携特別企画「仙海先生と大阪の書画を語らう」

「大阪の書画、語らう」で集まったコメントを見ながら、逸翁美術館の仙海上席学芸顧問と大阪の書画をたのしむイベントです。

講師：仙海義之（逸翁美術館上席学芸顧問）

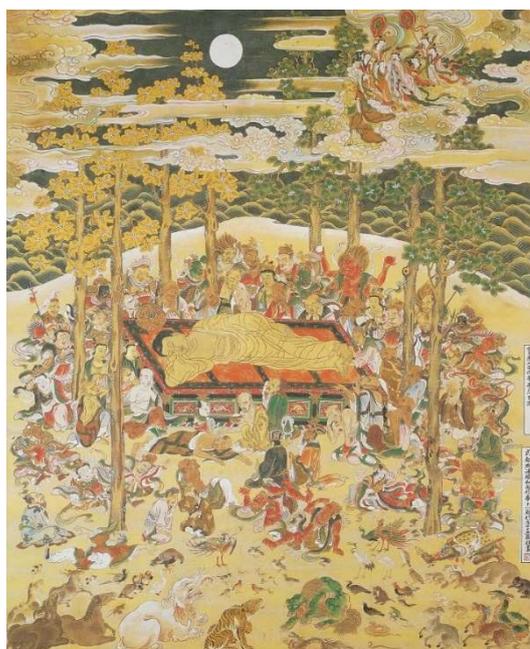
日時：5月17日（日）午後2時～3時

会場：同館大展示室・小展示室

※申込不要。



上田耕甫「老松双鶴図」



ねはん  
大岡春卜「涅槃図」(久安寺蔵)



岡本豊彦、松村景文、篠崎小竹、馬寅他「亀図」

問い合わせ 歴史民俗資料館  
TEL072・751・3019